

窓口負担金の受領方法として、口座振込、分割払い、カード等決済のいずれかを取り扱っている割合は、産婦人科(71.4%)、外科(64.0%)の順に高い。逆に、小児科、皮膚科、耳鼻咽喉科は低い。

未収金の多い診療科が、少しでも未収を減らす取り組みをしていることが分かる。ただし、改善につながっているかどうかは分からない。

